

# 社会福祉士制度の見直しについて

## (制度の現状)

- 社会福祉士制度の概要と現状 . . . . . 1
- 社会福祉士の任用・活用の現状 . . . . . 6
- 社会福祉士資格取得方法の現状 . . . . . 14
- 社会福祉士養成課程の現状 . . . . . 19
- 社会福祉士を取り巻く状況の変化 . . . . . 24

# 社会福祉士制度の概要と現状

## 社会福祉士制度導入の趣旨

社会福祉士制度は、増大する、老人、身体障害者等に対する介護需要に対応するために、誰もが安心して、老人、身体障害者等に関する福祉に対する相談や介護を依頼することができる専門的能力を有する人材を養成、確保することを目的として、昭和62年に創設された。

(※社会福祉士及び介護福祉士法案提案理由説明より一部引用)

(定義:「社会福祉士及び介護福祉士法」第2条第1項より)

「社会福祉士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもつて、身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うことを業とする者」

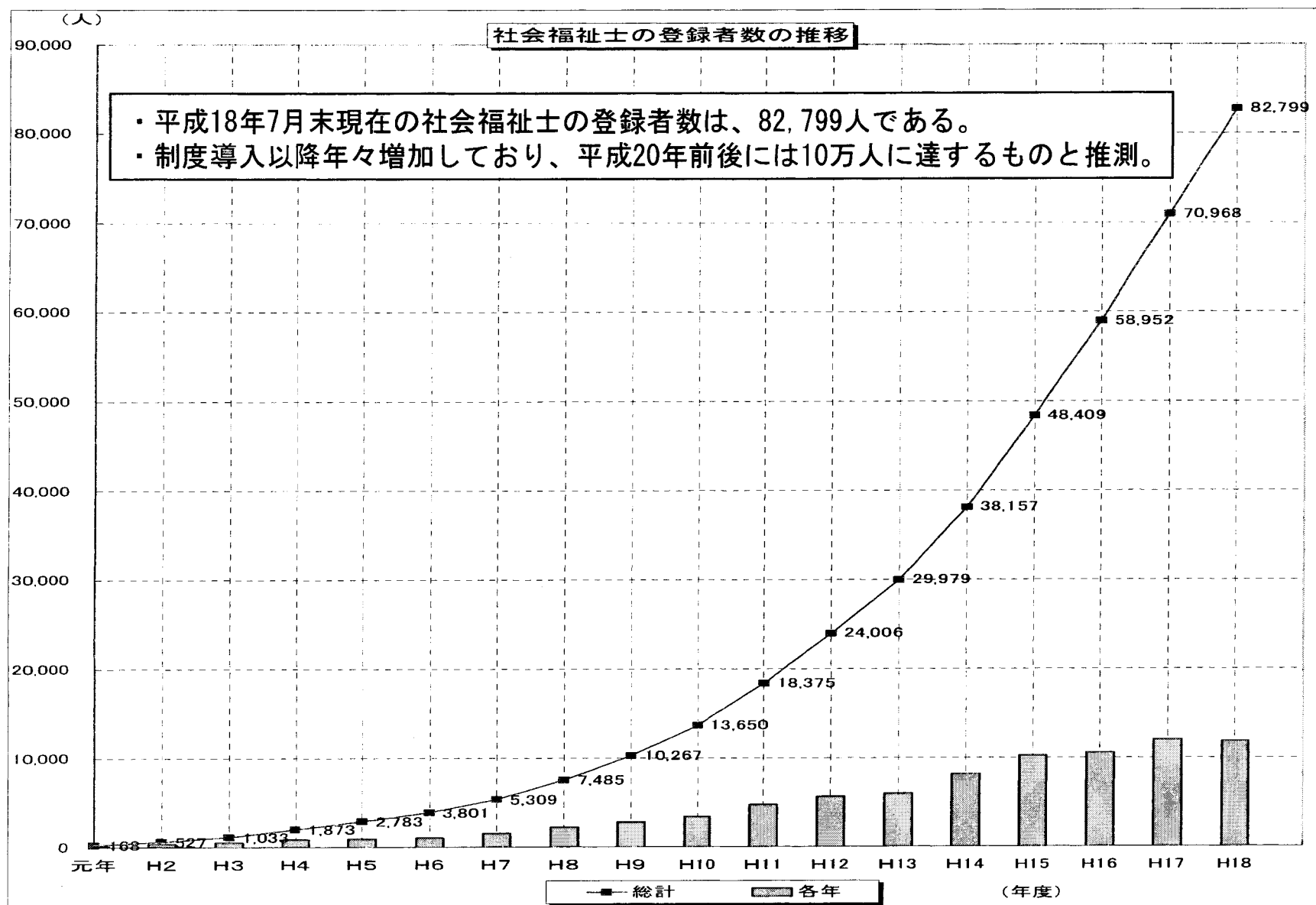
## 国際ソーシャルワーカー連盟の定義

※国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)によるソーシャルワークの定義と社会福祉士の実際との関係から、社会福祉士は国際的な意味においてもソーシャルワークを担う者であるという指摘もある(日本社会福祉教育学校連盟・日本社会福祉士養成校協会合同検討委員会『社会福祉士が活躍できる職域の拡大に向けて』)。

(参考)

ソーシャルワーク専門職は、人間の福利(ウェルビーイング)の増進を目指して、社会の変革を進め、人間関係における問題解決を図り、人びとのエンパワーメントと解放を促していく。ソーシャルワークは、人間の行動と社会システムに関する理論を利用して、人びとがその環境と相互に影響し合う接点に介入する。人権と社会正義の原理は、ソーシャルワークの拠り所とする基盤である(IFSW,2000)。

# 社会福祉士資格取得者の状況



(注) 人数は、各年度9月末の登録者数。平成18年度は7月末現在の登録者数。

## <参考>

# 社会福祉士の概要について

### 1 経緯及び概要

昭和62年3月23日に中央社会福祉審議会等福祉関係三審議会の合同企画分科会から出された「福祉関係者の資格制度の法制化について」（意見具申）に基づき、「社会福祉士及び介護福祉士法（昭和62年法律第30号）」が第108国会において昭和62年5月21日成立、同5月26日公布された。

社会福祉士は、同法に基づく名称独占の国家資格であり、社会福祉士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもって、身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うことを業とする者をいう。

### 2 資格取得方法

福祉系4年制大学卒業者（指定科目履修）、社会福祉士指定養成施設卒業者、福祉事務所の査察指導員等で5年以上実務経験のある者等で、社会福祉士国家試験に合格し登録することが必要である。

### 3 社会福祉士国家試験の概要

#### ○形態

年1回の筆記試験（1月の下旬に実施）

#### ○筆記試験の科目（13科目）

①社会福祉原論 ②老人福祉論 ③障害者福祉論 ④児童福祉論 ⑤社会保障論 ⑥公的扶助論

⑦地域福祉論 ⑧社会福祉援助技術 ⑨心理学 ⑩社会学 ⑪法学 ⑫医学一般 ⑬介護概論

なお、第16回試験より、精神保健福祉士については、その申請により精神保健福祉士試験との共通科目（①、⑤、⑥、⑦、⑨、⑩、⑪、⑫の8科目）の試験が免除される。

#### ○実施機関

社会福祉士及び介護福祉士法第10条第1項の規定により厚生労働大臣が指定した

（財）社会福祉振興・試験センター（TEL:03-3486-7521）

\* 介護福祉士及び精神保健福祉士についても試験事務・登録事務を実施

#### ○試験の実施状況（平成17年度実施の第18回試験結果）

受験者数43,701人、合格者数12,222人（合格率28.0%）

### 4 資格者の登録状況

82,799人（平成18年7月末現在）